

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 にじいるキッズ		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名中14名 (2名は当月利用なし)	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○環境設備(機械浴槽2台・個浴)が整っており毎回入浴支援ができています。	○入浴支援は保護者のレスパイト的な役割もあり、利用枠が空いている場合は声掛けを行っています。 ○安全な入浴が出来るよう浴室には必ず2名以上のスタッフを配置し対応しています。 *気管切開をされている場合は看護師を含め3名での対応。 ○清潔保持に努め、身体観察を行いながら気になる点があれば保護者へ報告し早期発見に努めています。	○放課後はサービス提供時間が短い為、他の支援を含め利用児童またスタッフの過度な負担とならないよう、常に業務見直しを行いながら安全な支援が出来るよう取り組んでいます。特にスタッフ数が少ない日の対応については、念入りにシミュレーションを行い安全第一で支援を行うよう今後も継続して取り組んでいます。
2	○施設内の設備が充実しています(体育館やリハビリ室・診療所等)。 ○家庭や学校とは違った環境の提供ができています。	○併設している事業(障がい者支援施設・生活介護事業所等)の利用者の方との交流の機会や法人内のイベントに積極的に参加し、交流の機会を設けています。 ○キッズスタッフだけに留まらず、他部署のスタッフとのコミュニケーションを取り、様々な人との関わりを経験出来るよう取り組んでいます。	○設備を最大限に利用できる取り組みを考えていきます。
3	○スタッフ間での情報共有。	○様々な案件について、専門的な立場(保育士・看護師・理学療法士等)から意見や情報を他スタッフへ伝えられるよう、情報共有出来る時間を設けています。 ○当日に共有が出来なくても必ず全員が周知出来るようシステムに入力し情報共有を図るようにしています。	○同じ意識をもって支援に取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○利用数に対してキッズルームが狭く動きにくいところがあります。	○休息するスペースや車いすなどそれぞれの荷物の置き場所が限られているため、乱雑となり忘れ物や入れ間違え等のリスクがあります。 ○動くスペースに制限があり接触等によるケガに注意し支援を行わないといけません。	○ハード面の変更は困難な為、整理整頓や物の置き場所、不要物の撤去等を行っています。 ○必要に応じて他の部屋を活用します。 ○リスクが起きないようにヒヤリハット事例をもとに検証をしていきます。
2	○キッズルームと浴室、その他の動線が遠い為、分散された支援対応となっています。	○キッズルームと浴室が少し離れているため、異常があった場合に早急に気づくことが出来ません。	○支援者が2つに分かれてしまう場合には連絡方法や緊急時の対応等しっかりと確認し日々の支援を行うようにしていきます。